

揖斐

其右孫源政景其右孫政雄子那

之先祖美濃國土岐六郎賴清二男

出羽守賴雄末流玄部少輔政延より

出寛永賴雄時美濃國土岐郡揖斐名

小住せし小より家號より信家政雄より

織田信雄小つりて天正十二年信雄豊

后家と尾張國小と對陣あり

東照宮織田家ノ後玄々として清出馬
ありて長久寺に於て戦ひせ終ふ時
清馬と政雄の領地小つめ給ひて
て政雄の名と聞て召あり寛永此時政雄
の領地系馬郷小若と構へ力戦し首十
級と得て名寛小給へて清感の仰とか
らある其後信雄小従ひて出羽國小つ
つと文禄元年二月十二日この地とて

死の法名全松とて政景とてめ半次郎
とて小塚屋帯刀右晴と許小あり家慶

長七年

東照宮とて小長久寺合戦の時清馬は
父政雄のめとてつめ給ひ其名とて
し召ありてせ終へ信雄小政雄と事と問
せ終ふ此とて政雄既小死したるより
信雄のてのゆりたるを其子ある

了と尋終ふ其ころ政景ハ堀屋帯
刀右晴らわるとにありやうと聞ゆ
及んまゝ土方河内守雄久天野周防守雄光
しやめさせ終ふにやう政景くめ
東照宮と稱し奉る家譜同十六年一月
鳴津修理左美義久卒せしむ
台徳院殿より根子一万ふととせし
る政景此清徳とつけたまひりて薩麻

におとじく

家譜 薩麻
地証要畧

其後上總國海之郡

内小としく采地五百石とたゆひ

台徳院殿小附属せしむる大坂清陣は

伏見城ハ番と勤し後上總國香取武藏國

橋樹西郡内小として新恩二百石と賜ひ

元和七年小田原ハ町奉行とあり代官

と兼此ハ相模國大任郡ゆららにとい

て二百石の地と加へられ之て九百石餘

成知より寛永九年相換國小田原城以
箱葉丹後守正勝小賜ふ小より十月
土屋布之丞勝正とこと仰とうけく
被地小より引渡り後と勤し家譜同十年
正月より仰とうけく駿河大納言忠長御
以別郎と守る同十一年四月駿府の町奉
以小後つ日記同十七年職と辞以同十八
年正月十八日死以法名如天と家譜其子

興右衛門政綱按てゝ小家傳小寛永九年

く〜めく

大猷院殿小辨福寛永く〜久六半

十郎ま〜彦右衛門と〜ひらり家譜同十三

年八月清小性組小列以同十八年十二月

遺跡と継慶安元年十二月仰と奉り

て京小のあり鷹島司家以此事と奉り

日記の今以小善信撰斐
興右衛門政久と祖より